

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	小学校大規模改造事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	02	01	05	73
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	学校施設課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	大塚 昌浩				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	小学校の児童、教職員及び学校施設利用者	意図	国庫補助の対象となる施設の改修、機能低下の改善の実施による学校施設環境の維持、保全
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設環境改善交付金のメニューに基づき事業を選定 不適格建築物の改築、老朽施設の改造、トイレ改造等の質的整備を実施 現時点では、トイレ改造、バリアフリー化を主に実施 			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度まで、耐震工事及びトイレ改造を主に実施 校舎等は建設後30年以上経過しているものが多く、老朽化対策が最大課題 ファシリティマネジメントと組み合わせて、学校施設全体の整備計画が必要 平成25年度から、長寿命化改修事業が国庫補助メニューとして追加された。 			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	大規模改造設計委託件数	0	1	0	件	↑↑↑	
②	大規模改造工事件数	0	0	1	棟	↑↑↑		
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・平成30年度は八木南小学校の屋内運動場のトイレを環境改善事業として改修した。 ・国庫補助のメニューは多岐に渡っており、大規模改造を事業として特出する意味合いが薄れたことから、令和2年度より校舎等改修事業に統合する予定。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)			4,553,840	33,043,200				
事業費(b)(円)			3,412,800	30,736,000				
うち一般財源			3,412,800	6,574,000				
職員給与と費(c)(円)			1,141,040	2,307,200				
人役・職員(人)			0.17	0.35				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	国庫補助制度の有効活用	③取組における課題(Check)	国庫補助制度を有効に活用し、施設の改善を図る。
②H30に実施した取組(Do)	国庫補助の対象内容を確認し、事業内容を精査した。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	ファシリティマネジメント事業と連携し、事後保全による維持補修から予防保全に切り替えることによって、施設の適切な機能保持、施設の長寿命化を図る。